

STOP!

子宮頸がん



子宮頸がんの予防に有効な
HPVワクチンの公費負担による

無 料 接 種

を行っています。

子宮頸がんは20～30代の女性がかかるがんの第1位、全国の罹患数は年間約11,000人、死亡数は年間約3,000人とされています。若年化が進む子宮頸がんは、HPVワクチンで予防できる病気です。しかし、日本ではワクチンの副作用を心配し、接種しない人が大多数。世界ではHPVワクチンの接種は広く行われ、その有効性及び安全性が証明されています。

接種を希望される場合は、医師に相談の上、ワクチンの有効性と安全性について十分に理解した上で受けてください。

接種推奨年齢：**12歳～16歳** 小学校6年生～高校1年生相当の女子

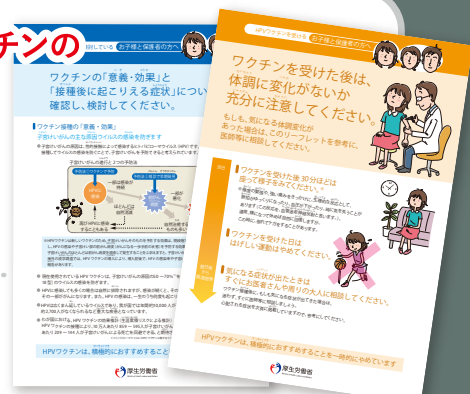
子宮頸がんと
HPVワクチンのことをよく知り、
正しい選択を考えましょう。

現在国内で認可されているHPVワクチンは **サーバリックス** **ガーダシル** の2種類です。
同じワクチンを全3回腕の筋肉に注射します。2回目は初回の1～2ヶ月後、3回目は6ヶ月後に行います。

WEBでワクチンの
情報公開中



▶厚生労働省サイト



実施医療機関で申請受付中

お問合せ先

医療機関や市町村の健康福祉の窓口

兵庫県産科婦人科学会
協力機関：兵庫県医師会／兵庫県小児科医学会